

福祉有償運送事業所へのヒアリング報告について

1 福祉有償運送とは

介助なしで移動することが困難、かつ単独での公共交通機関の利用が困難な要介護者、障がい者等に対し、十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合に、NPO、公益法人、社会福祉法人等が、実費の範囲内であり、営利とは認められない範囲の対価によって、乗車定員11人未満の自家用自動車を使用し、会員に対して行うドア・ツー・ドアの個別輸送サービス。

発着のどちらかが長久手市であれば市外への移動も可能。サービスを利用するためには、事業所への登録や福祉有償運送利用費の負担が必要となる。

2 ヒアリング概要

(1) 対象事業所

- ・社会福祉法人 むそう（平成27年事業開始）
- ・特定非営利活動法人 つづら（令和2年事業開始）
- ・特定非営利活動法人 百千鳥（平成27年事業開始）

(2) 実施時期

令和5年3月28日（火）、29日（水）

(3) 目的

移動ニーズに対し、公共交通や福祉有償運送、スクールバスなど地域の輸送資源を活用した対応方針を地域公共交通計画に記載するため。

(4) ヒアリング内容

移動困難者（障がい者、高齢者）の移動需要について
（事業への登録者数や利用者の移動傾向、移動に関する悩みや要望など）

3 結果

(1) 福祉有償運送事業所について

○各事業所ごとの事業特徴

むそう・百千鳥	つづら
法人の事業所の利用者（主に障がい者）を対象に事業を実施。	幅広い対象者に対し事業を実施。高齢者の利用が多い。

○登録者数

登録者	むそう	つづら	百千鳥
高齢者	—	130名	5名
障がい者	40名（身体5、知的35）	12名	38名

(2) 利用者の移動傾向

	むそう	つづら	百千鳥
よくある 移動先	愛知医大、東名病院、クリ ニック、アピタ、イオン	愛知医大、アピタ、 イオン、美容院	病院（愛知医大など）、 アピタ、イオン
利用時間	9時頃、15時30分以降	午前中	午前中

(3) 移動に関する悩みや要望

(むそう)

- ・小学生が通学で利用しているN-バスについて、ポンチョサイズでは厳しい。名古屋商科大学のスクールバス車両（名鉄バス）を活用すべきである。
- ・三ヶ峯線の三ヶ峯ニュータウンから公園西駅までの路線は充実させてほしい。
- ・デマンド型交通の運行について、障がい者にとって自身で毎回予約することが負担となり、かえって外出自粛に繋がる懸念がある。
- ・定時定路線型の継続、定時定路線型に近いデマンド型交通を希望する。

(つづら)

- ・福祉有償運送利用者が公共交通を利用できる条件として、バス車両の段差解消、乗降口付近の座席設置等、車両のバリアフリー化は必須であり、N-バス路線の改変のみでは、バスの利用は難しい。
- ・運転免許証返納者であるが、福祉有償運送利用の対象ではないため、利用したくても利用できないという人がいる。
- ・デマンド型交通について、電話で予約できると良い。

(百千鳥)

- ・N-バス路線は全て市役所が起点であり、市役所で乗り換える必要があるのは不便である。市全体で大きく循環させて欲しい。
- ・渋滞でバスが動かないことも多い。
- ・デマンド型交通について、障がい者自身で時間や目的地を決めて予約することは難しいが、交通事業者で運行時間を定めて乗車の希望を募る方法はどうか。

(4) 事業者としての課題

(つづら)

- ・車両とドライバーの確保が難しい。ドライバーに関しては講習を受講する必要がある上、人の命を預かることの責任が大きく、辞めてしまう人もいる。

(百千鳥)

- ・ドライバー不足、車両の燃料費、事故発生時の責任が課題である。